

自由民主党総裁選立候補の決意

このたび私、町村信孝は我が党の国会議員ならびに全国の党員党友の熱い励ましとご要請を受け、自由民主党の総裁選挙に立候補する決意を固めました。

思えば平成二十一年の総選挙で、我が党は民主党に歴史的な大敗を喫しました。それから三年、無責任かつ方向の定まらぬ民主党政権の国家運営によって、我が国は目を覆わんばかりの惨状を呈しています。まさに日本は内憂外患、国難とも言うべき状況に直面しています。

私は、十三年間の経済産業省勤務の後、三十年近い国会議員の活動の中で、内閣官房長官、外務大臣、文部科学大臣等の貴重な体験を積んできました。特に、三年間の海外勤務等では国際感覚を養い、外務大臣として世界の中の日本のあるべき姿を学んできました。

こうした、私の経験と、若い人や女性の力を大いに活かし、日本が直面する多くの困難な課題に真正面から取り組んで参ります。そして、自民党のリーダーシップの下、「凜として力強い日本」をしつかり次の世代に渡していきたいのです。

私は、四本の柱を具体的政策課題に掲げました。

第一は「大震災と原発事故への迅速な対応」

第二は「力強い経済社会の創造と雇用の確保」

第三は「教育立国、文化立国の推進」

第四は「凜とした外交・安全保障政策の展開」

これらを私の情熱と実行力で必ず実現していきます。

今、政治に対する国民の信頼は大きくゆらいでいます。私は、自民党を「進歩を目指す保守政党」として再建を果し、「凜として力強い日本」を創造していくため、全力を尽す決意であります。

全国の自民党員、党友の皆様、同僚の国会議員の皆様のおたかひご支援を心よりお願い申し上げます。

平成二十四年九月吉日

衆議院議員 町村 信孝